※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　理科

教科	理数	科目	理数地学	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校　地学基礎　（啓林館）						
副教材等	新課程版 2025 セミナー地学基礎（第一学習社）、フォトサイエンス地学図録（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学は暗記教科ではない。知識よりも思考力を身につけ、地学的なセンスを養うことが重要である。常に頭をはたらかせながら授業を聞き、ポイントを記入しまとめていく。そうしていると、地学は煩雑で理解しにくいものではなく、全容が見えてくる。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，自ら課題を設定し，見通しをもって観察，実験などを行うことができる，科学的に探究する資質・能力を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的に探究しようとする態度を養う。

・現在の地球の活動について観察，実験などを通して探究し，地球の構造や，プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。
・地球の現在に至るまでの過程について観察，実験などを通して探究し，太陽系に誕生した惑星としての地球の特徴や，現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷を理解する。また，地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを，言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部　固体地球とその活動	地球 活動する地球	a 以下の項目について知り，理解することができる。 地球の形と大きさについて 地球の内部構造 地球内部の動き プレートの分布 プレートの境界 地殻変動と地質構造 変成作用 大地形の形成 地震の発生と分布 地震波の伝わり方 日本付近で発生する地震 火山の分布 火山の形成とマグマ 火山の噴火 火成岩の形成 火成岩の種類 b 上記の項目について，考え・まとめることができる。 c 以下の項目について探究することができる。 地球の大きさを求める 変成岩の分布とプレートの動き・地殻変動 弾性波の屈折と反射 震源の求め方 地震の分布 プレート境界地震 内陸地殻内地震 海洋プレート内地震 マグマの発生のしくみ マグマ中の火山ガスの発泡 マグマからの火成岩の形成のされ方 偏光顕微鏡による岩石薄片観察	授業内での小テスト 定期考査	定期考査 ノート・ワークシート 観察・実験レポート	探究活動ワークシート 観察・実験レポート

※令和４年度以降入学生用

	第2部　大気と海洋	大気の構造 太陽放射と大気・海水の運動 日本の天気	a 以下の項目について知り，理解することができる。 大気の構成と特徴 対流圏における水の変化 太陽放射を地球放射 地球を出入りするエネルギー エネルギー収支の緯度分布 風 大気の大循環 海洋の構造 海洋の大循環 エルニーニョ現象とラニーニャ現象 b 上記の項目について，考え・まとめることができる。 c 以下の項目について探究することができる。 水の状態変化と潜熱 地球放射の測定 エネルギー収支の計算 大気の大循環と働く力 熱塩循環 エルニーニョ現象と貿易風 南方振動	授業内での小テスト 定期考査	定期考査 ノート・ワークシート 観察・実験レポート	探究活動ワークシート 観察・実験レポート

※令和４年度以降入学生用

後期	第3部　移り変わる地球	地球の誕生 地球と生命の進化 地球史の読み方	a 以下の項目について知り，理解することができる。 宇宙の探究の歴史 宇宙の始まり 太陽の誕生 太陽の活動 太陽系の構造 太陽系の構造 太陽系の誕生 地層の形成 地層の重なりと広がり 堆積岩 化石と地質時代 先カンブリア時代 古生代 中生代 新生代 地球と生命の誕生 b 上記の項目について，考え・まとめることができる。 c 以下の項目について探究することができる。 望遠鏡のしくみ ビックバン 宇宙マイクロ波背景放射 核融合 電磁波 太陽風 ハビタブルゾーン 地層累重の法則 級化層理 示準化石 化石燃料	授業内での小テスト 定期考査	定期考査 ノート・ワークシート 観察・実験レポート	探究活動ワークシート 観察・実験レポート

※令和４年度以降入学生用

	第４部　自然との共生	地球環境と人類 災害と社会 人間生活と地球環境の変化	a 以下の項目について知り，理解することができる。 気候変動 地球温暖化による変化 オゾン層の変化 自然の恩恵 気象災害 地震災害 地震による被害の軽減 火山災害と防災 b 上記の項目について，考え・まとめることができる。 c 以下の項目について探究することができる。 温室効果ガス フロン 日本の季節と気団の関係 線状降水帯 土石流 高潮 洪水 液状化 津波 南海トラフ３連動地震 ハザードマップ	授業内での小テスト 定期考査	定期考査 ノート・ワークシート 観察・実験レポート	探究活動ワークシート 観察・実験レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度